

「若者・学生の社会的孤立防止プロジェクト」ご協力のお願い

2020年12月19日 一般社団法人ワカツク

ワカツクは「誰もが困ったときに助け合える街」「若者が安心して学び、挑戦できる街」の実現を目指して、不安を抱えた大学生と向き合う「若者・学生の社会的孤立防止プロジェクト」に取り組んでいます。

■本プロジェクトへ取り組む背景

- ✓ 近年、多くの民間団体や行政の尽力により、小学生や中学生・高校生を対象とした困窮支援は拡充しつつあります。一方、大学生を対象とした支援はほとんどなく、困窮状態に陥っても助けを求められる窓口さえないのが現状です。
- ✓ 実際にワカツクが行ったアンケートでは、食糧支援を受けた学生の9割が「誰にも相談していない」と回答していました。また中には、1日あたり1～2食の食事しか取れない状況でも、「自分よりもっと困っている人がいる」と考え、ヘルプを出せないままボランティアに取り組む学生もいました。
- ✓ ワカツクは、このように大学生の孤立した状況が大学中退や若者の自死の問題につながっているのではないかと危機感を持っています。特に今年は、コロナ禍によりアルバイトの機会や収入そのものが減少する一方、オンラインを中心とした授業や課外活動の中で友人や教員へ気軽に相談することもできず、大学生の孤立化がより一層深刻な課題となっています。

■本プロジェクトの概要

- ✓ 上記の危機感・課題意識をふまえ、本プロジェクトでは以下に取り組んでいます。

- ◇ **【学生相談サポーターの人材育成】**研修を通じて、自分自身や身近な友人が困ったときに適切に対処できる知識・スキルを持った学生を育成します。
- ◇ **【不安を持つ学生の早期把握・対応】**現在の大学生生活や経済状況等に不安を持つ学生からの相談をオンライン上で24時間受付、学生ピアサポーターとワカツクスタッフが対応します。
- ◇ **【専門機関への紹介を通じた課題解決】**上記の対応を行う中で、専門的なサポートを必要とする学生に対しては、適切な専門機関等へつなげ、具体的な課題解決を支援します。

- ✓ 活動の詳細は、ホームページをご覧ください。(<http://www.wakatsuku.jp/gakuto>)



■企業・大学・行政の皆様へご協力のお願い

- ✓ 本プロジェクトを次年度以降も継続的に発展させることで、次世代の地域や社会を担う若者が安心して学び、挑戦できる街づくりにつなげたいと考えています。また仙台で行う本プロジェクトをパイロットケースとして日本各地へ展開・ノウハウ共有することで、次世代を担う大学生の未来を応援する全国的な土壌づくりに貢献します。本プロジェクトの趣旨にご賛同いただける皆様におかれましては、可能な範囲でのご支援をよろしくお願い申し上げます。

<ご支援いただきたい内容(例)>

本プロジェクトの周知・広報活動に関するご協力	アンバサダーとして、著名人や企業の方から本プロジェクトや学生に対する応援メッセージのご提供をお願いします。
学生向けアンケート調査の実施に関するご協力	学生の実態を把握するための調査設計、回答フォーム構築、アンケート実施の周知活動等をご支援いただきたく考えております。
ご寄付	寄付金は、相談サポーターの活動費や育成費、相談窓口の周知機会である食糧支援活動費として活用予定です。
アルバイト先を失った学生への雇用機会のご提供	貴社での就業機会(アルバイトや有償インターンシップ等)に関する情報がございましたらご提供ください。
その他	上記の他にご提供・ご協力いただけるものがございましたら、ぜひ一度ご連絡ください。

■本件に関するお問合せ先

一般社団法人ワカツク 若者・学生の社会的孤立防止プロジェクト
代表理事 渡辺一馬 (メール: gakuto@wakatsuku.jp / 電話: 022-721-6180)

【ご参考】一般社団法人ワカツクとは ワカツクは、東日本大震災を契機として設立されました。地域を担う人材が挑戦を続けられる生態系の構築を目指して、課題解決型人材の育成や若者が挑戦できる環境づくりに取り組んでおります。